

定性
化學

永
松
東
海
輯
試驗要領

四

植物性塩基返應

5

共
五
冊



定性試驗西

卷之二

植物性塩基各個返應

明治九年圖書局交付

永松東海 輯

峯源次郎 校

植物性塩基各個返應

植物性塩基(アルデカ)ヲ大別シテ揮發不揮發

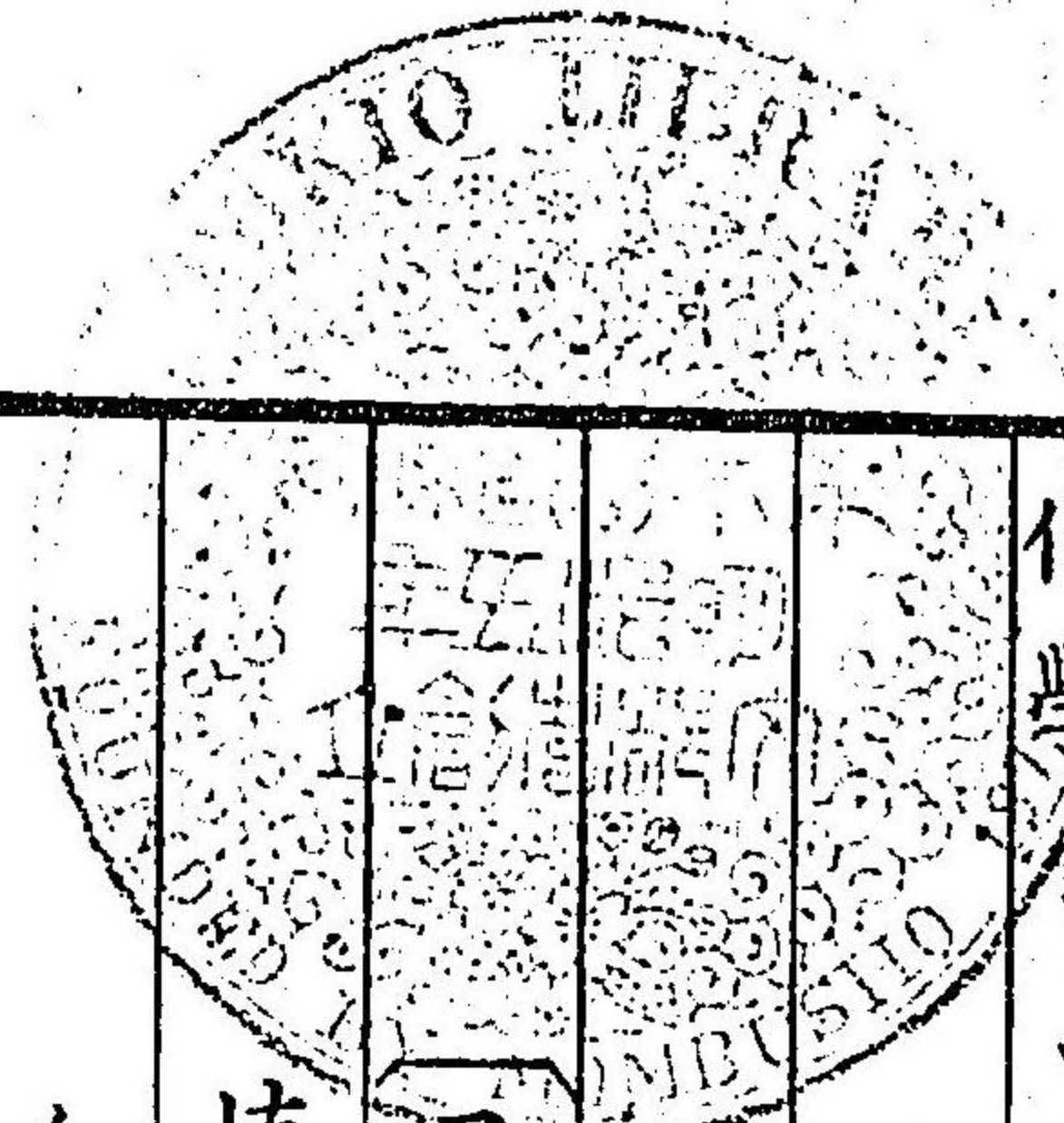
ノ二類トス而ノ共ニ盡ク左ノ試験藥ニ由

テ沈澱ス

第二コロール白金

沃度加里謨含沃度液

含加里謨第二沃度汞



式會更頁家百

植物性塩基各個返應

含加里謨第二沃度カドミム

含加里謨第二沃度蒼鉛

含磷モリブデン酸

含磷アンチモン酸

異性ウルフラム酸

ピクリン酸

天

揮發植物性塩基 ニコチン、コニイン、コンヒ

ドリリン、スパルテイン、此揮發植物性塩基ハ常

温ニ在テ流動シ、揮散ノ性ヲ有ス故ニ其塩ヲ

蒸餾シテ之ヲ得ヘシ、且其蒸氣ニ抵觸スルニ

揮發酸ヲ以テスレバ之ト抱合シテ霧状ヲナ
ス

ニコチン及其塩

ニコチン（煙草成分ノ一）ハ無色或黄色或ハ褐色ノ

流體ニシテ其状恰モ油ノ如ク、異重一、〇四八

アルコール、エートル及ヒ水ニ溶解シ易シ、其

塩ハ不揮ニシテ水、酒精ニ溶シ易ク、エートル

ニ溶セズ〇ニコチンハ「ラツクム」紙ヲ藍

變ス、加熱スレバ烟草ノ臭ヲ放ツ、味強烈ニシ

テ灼カ如ク甚毒

第二コロール白金ヲニコチン或ハニコチン塩ノ水溶液ニ加レバ帶白黄色ノ雲澱ヲ生ス、加温スレバ一度消散溶解スレバ終ニ又橙黄色ノ澱ヲ生ズ

第二コロール金液ヲ多量ニ注ケバ帶紅黄色ノ雲澱ヲ生ス此澱ハ塩酸ニ溶シ難シ

沃度加里謨含沃度液少量ヲニコチンノ水溶液ニ加レバ黄色ノ澱ヲ生ス此澱ハ一二時ヲ經テ再ヒ溶解ス

エートルヲニコチンノ水溶液或ハニコチン溶液

ニ加里若クハ曹達ヲ加ヘタル者ニ注キ振盪スレバニコチンハエートルニ溶解ス、此液ヲ時辰儀甲板ニ盛り温ムレバ白色烈臭ノ蒸氣ヲ放ツ
單寧酸液ヲニコチンノ水溶液ニ注ケバ白澱ヲ生ス、之レニ少量ノ塩酸ヲ加レバ再ヒ消散ス
昇汞液多量ニニコチン溶液ヲ加レバ白色輕鬆ノ雲澱ヲ生ス

コニイン及其塩

コニイン失鳩峯ノ成分ノ一近ハ無色ノ流躰ニシテ油ノ如ク氣ニ觸レハ褐色トナル、異重〇、八九水ニ

コンヒドリン

スパルテイン

此二物ハ其希有タルヲ以テ今茲ニ其試法ヲ
畧ス

地

不揮發植物性塩基 「モルモン、ナルコチン、

キニーン、シンコニン、ストリキニーン、ブル

チン、ヘラトリン、アトロピン

此不揮發植物性塩基ハ常温ニ在テ大抵固形

ヲ有シ、無臭、苦味、揮散セズ、水ヲ以テ蒸餾ス可

ラズ○不揮發植物性塩基ハ悉ク酸素ヲ含有

ス、揮發塩基ハ然ラズ

第一類 「モルモン」

此類ノ塩溶液ニ「加里或曹達」ヲ加レバ生澱ス

然氏過量ニ加レバ又溶消ス

モルモン及其塩

モルモン（阿片成分ノ一近成）ハ無色、光澤アル柱状若ハ

白色結晶形ノ粉末ニシテ味苦ク、冷水ニ溶シ

難ク、アルコールニ溶解シ易ク、沸湯ニハ稍溶

シ、「エートル」ニハ全ク溶セズ、「アミルアルコ

ル」ニ溶ス、其塩ハ水及酒精ニ溶シ易ク、「エート

ルニ溶解セズ、嘔スベキ苦味アリ、麻醉ノ性ヲ有ス、慎テ之ヲ煨熱スレバ分解セズシテ昇騰ス、

加里或アンモニアキヲ「モルモン」塩ノ溶液ニ加レ

バ(一二時ヲ經テ)白色結晶形ノ澱ヲ生ス、此澱ハ

過量ノ加里ニ由テ溶解スレバアンモニアキニ

由テ溶解シ難シ

炭酸加里及炭酸曹達ハ白色結晶形ノ澱ヲ生ス、此

澱ハ沈降藥多量ヲ注クト雖モ溶解セズ

重炭酸曹達或重炭酸加里ヲ中性ノ「モルモン」塩ノ

溶液ニ加レバ直ニ粉末状ノ澱ヲ生ズ、此澱ハ多量ノ沈降藥ニ溶解セズ

強消酸ヲ固形ノ「モルモン」或其抱合物若クハ其稠

厚ノ溶液ニ加レバ黄紅色ノ液トナル、此液ニ第

一コロール錫ヲ加ルモ紫色ヲ呈セズ是レ「プロ

チント」所異ナリ○稀薄ノ溶液ハ消酸ニ由テ冷

際更ニ呈色セズ然レ之ヲ温煮スレバ黄色ヲ呈

ハス

稠厚硫酸ニ「モリブデン」酸ヲ溶セル者モリブデン酸曹達五ミ

立ガラムリガラム稠厚硫酸チノールトニ少量ノ「モルモン」或モル

モシ塩ノ末ヲ投シ硝子竿ヲ以テ混和スレバ鮮明ナル紅紫色トナリ一二時ヲ經テ帶緑褐色トナル

〔純稠厚硫酸〕五六滴ヲ「モルフィン」或ハ其抱合物ニ加ヘ重湯煎ニテ温煮スル「十五分時間」ニシテ放冷シ之ニ少許ノ消酸ヲ含メル硫酸八滴乃至二十滴ヲ点加シ次ニ水二三滴ヲ加レバ帶紫紅色ヲ呈ハス

〔沃度酸〕ヲ「モルフィン」溶液ニ加レバ沃度析出シテケルノス様ノ褐色或ハ黄褐色ノ澱ヲ生ス之ニ澱

粉糊ヲ加レバ藍色トナル

〔單寧酸〕ヲ稠厚ノ溶液ニ和スレハ白色ノ澱ヲ生ス

第二類 ナルコチン、キニーン、シンコーニン、此類ノ塩溶液ニ〔加里〕ヲ注ケバ沈澱ス、然レ此澱ハ過量ノ沈降藥ニ由テ溶消充分ナラズ○〔重炭酸曹達〕ヲ此類ノ塩ノ酸性溶液ニ注ケバ其溶液甚タ稀薄ナラザル時ハ澱ヲ生ス

ナルコチン及其塩
ナルコチンハ形状大抵モルフィンニ同シ、水ニ

溶セズ、冷アルコール及冷エートルニ稍溶シ
之ヲ温ムレバ融ク溶解ス、コロールホルムニ
溶シ易ク、アミルアルコールニ溶シ難ク、ベンツ
ールニハ溶シ易シ、純ナルコチンハ無味、其ア
ルコール及エートルニ溶セルモノハ甚タ苦
味アリ、其塩ハ水、アルコール及エートルニ溶
解ス、味苦

亞爾加里、炭酸亞爾加里或重炭酸アルカリヲナル
コチン塩ノ溶液ニ加レバ白色ノ粉末ヲ沈ビ、此
澱ハ多量ノ沈降薬ニ由テ溶解セズ

稠厚消酸 ニナルコチンヲ投スレバ無色ノ液トナ
ル、之ヲ温煮スレバ黄色トナル

稠厚硫酸 ハナルコチン種類ノ異ナルニ從テ種々ノ

色藍紫或正黄等ヲ呈ス○又法

稠厚硫酸 ニナルコチンヲ溶シ之ニ少許ノ消酸ヲ

加ヘタル硫酸ハ滴乃至二十滴ヲ加ヘ次ニ水ニ
三滴ヲ点加スレバ殷紅色ノ液トナル

コロール水ヲナルコチン塩ノ溶液ニ注キ之ニア

シモニアキヲ加レバ鮮美ナル黄紅色ノ液トナ
ル

單寧酸ヲナルコチニ塩ノ溶液ニ注ケバ帶白色ノ

澱ヲ生ス

キニーン及其塩

「キニーン（機那皮中ノ一成分）」ハ纖微束針狀ノ結晶ニ

シテ光澤アリ恰モ絹糸如シ、或白色輕鬆ノ粉

末狀ニシテ冷水ニ溶シ難ク、熱湯ニハ稍溶解

シ、酒精及エートルニ溶シ易シ、味苦○其中性

塩ハ冷水ニ溶シ難ク熱湯及酒精ニ溶シ易ク、

酸性塩ハ能ク水ニ溶ス

加里、アンモニアキ及單炭酸亞爾加里（ハ「キニーン

塩ノ溶液甚タ稀薄ナラザル中ハ白色輕鬆ノ粉

末（多時ヲ經テ針狀ノ晶トナル）ヲ沈ム、此澱ハ多量ノ加里ニ稍

溶シ「アンモニアキ」ニ容易ニ溶解ス

アンモニアキニガラム（「キニーン」塩一ガラムノ

溶液ニ注キ次ニエートル四ガラムヲ加テ之ヲ

振盪スレバ沈澱全ク溶消シ澄亮ナルニ層ノ液

トナル是レ「シニコニーン」ト所異ナリ

重炭酸曹達（「中性或酸性」ノ溶液ニ加レバ白色ノ

澱ヲ生ス、溶液甚タ稀薄ナル中ハ沈澱二十四時

ヲ要スルヲアリ

稠厚消酸 ヲキニーンニ注ケバ無色ノ液トナル之

ヲ温ムレバ帶黄色ニ變ズ

コロール水 ヲキニーン塩ノ溶液ニ注キ次ニアン

モニアキヲ加レバ鮮明ナル綠色ノ液トナル○

又法コロール水ヲ注キ次ニ少量ノ第一含鐵青

素加里謨液ヲ加ヘ繼テ之ニアンモニアキニ滴

或ハ他ノ亞爾加里ヲ滴スレバ鮮美ナル深紅色

ヲ呈ス此ノ液ニ醋酸或他ノ酸類ヲ加レバ其色

消褪ス又夕之ニアンモニアキヲ加レバ再ヒ紅

色ヲ現ス

稠厚硫酸 ヲキニーン或其抱合物ニ注ケバ無色或

ヤ、黄色ヲ帶タル液トナリ溶解ス

單寧酸 ヲキニーン塩ノ溶液ニ加レバ白色ノ澱ヲ

生ス之ニ醋酸ヲ注ケバ溶解ス

シンコロニン及其塩

シンコロニン（機那皮中ノ近成分）ハ澄亮若クハ白色

針状ノ晶ヲナシ或輕鬆白色ノ粉末ニシテ味

苦冷水ニ溶ヤズ沸湯ニ溶シ難ク酒精ニ少シ

ク溶解シアルコールニハ最モ溶シ易クエー

トルニ溶解セズシンコロニンヲ慎テ灼熱ス

レバ熔解シ次テ白烟トナリ香竄ノ臭ヲ放チ
昇騰ス、此烟ハ冷器ニ觸テ凝結シ針状若クハ
輕鬆ノ粉末トナル○此塩ハ「エートル」ニ溶セ
ズ、水及酒精ニ溶シ易ク、味苦

加里、アンモニアキ及中性炭酸亜爾加里ハ「シンコ
ーニン」ノ溶液ヨリ白色ノ雲澱ヲ生ス、此澱ハ多
量ノ沈降薬ニ由テ溶解セズ

重炭酸曹達或加里ヲ此塩ノ中性或酸性ノ溶液ニ
加レバ白色ノ雲澱ヲ生ス

稠厚硫酸ヲ「シンコーニン」ニ加レバ無色ノ液トナ

ル之ヲ温ムレバ褐色ニ變シ終ニ黑色ノ液トナ
ル

コロール水ヲ此塩ノ溶液ニ加ルモ變色セズ然レ
之ニ「アンモニアキ」ヲ添加スレバ帶黄白色ノ澱
ヲ生ス

第一含鐵青素加里謨ヲ游離ノ酸ヲ含マザル「シン
コーニン」塩ノ溶液ニ加レバ輕鬆ノ澱第一含鉄
青素「シンコーニン」ヲ生ス之ニ多量ノ沈降薬ヲ
加ヘ徐々ニ加温スレバ再ヒ消散ス、之ヲ放冷ス
レバ光澤アル正黄色ノ澱ヲ生ス

單寧酸ヲ此塩ノ溶液ニ加レバ白色輕鬆ノ澱ヲ生
ス、之ニ少量ノ塩酸ヲ加レバ溶解シ、多量ヲ加レ
バ再ヒ沈澱ス

註 シン、コーニン^ルハ「エートル」ニ溶セズ、ナルコーチ
ン及キニーン^ルハ之ニ溶スルノ性アリ、故ニ此塩
類ヲ檢別セント欲セバ其溶液ニ多量ノ「アンモ
ニアキ」ヲ注キ繼テ之ニ「エートル」ヲ加レバ「キニ
ーン」及「ナルコーチン」ハ「エートル」ニ溶シ、「シンコ
ーニン」ハ之ニ溶セズ○此溶液ヲ傾ケ取り蒸散
乾涸シ、其殘餘ヲ塩酸一分水二百分ノ和液ニ溶

シ、之ニ重炭酸曹達ヲ加レバ「ナルコーチン」ハ沈
降シ、特リ「キニーン」ハ溶留ス○「キニーン」中「キニ
ン」ヲ分離スルノ法、充分ナラズ、如何トナレバ尚
レ此植物性塩基モ亦「エートル」ニ溶スルノ性アリ
レバ、植物性塩基ニ之ヲ檢別セント欲セバ、宜ク定量
試驗法ヲ施ス

第三類 ストリキニーン、ブルチン、ヘラトリーン、
アトロピン

此類ノ塩溶液ニ「加里」ヲ注シ、沈澱ス、然レ此澱

ハ過量ノ沈降藥ニ由テ溶消充分ナラズ○**重炭酸固性亞爾加里**ヲ此類ノ塩ノ酸性溶液ニ注ケバ其溶液稍稠厚ナリト雖モ沈澱ス
ストリキニーン及其塩

ストリキニーンハ白色光澤アル柱状ヲナシ、若クハ白色ノ粉末ニシテ冷水ニ溶ヤズ、温湯ニ火シク溶シ、純アルコール及エートルニ僅ニ溶解ス、アミルアルコール、ベンツォール及コロールホルムニハ容易ニ溶解ス、加熱スレバ昇華シ、味甚苦○此塩ハ晶形ニシテ水ニ溶シ、

味甚タ苦シ、其性極ノテ毒アリ

加里或炭酸曹達ヲストリキニーン塩ノ溶液ニ注

ケバ白色ノ澱ヲ降ス、此澱ハ多量ノ沈降藥ニ由テ溶解セズ

アンモニアキ**返應加里**ニ同シ然ルニ此澱ハ多量ノアンモニアキニ溶解ス

重炭酸曹達ヲ此塩ノ中性溶液ニ注ケバ細針状ノ

澱ヲ生ス**酸性溶液**ニハ生澱セズ**此澱ハ過量ノ沈降藥ニ溶ヤズ然ルニ之ニ一滴ノ酸ヲ加レバ直ニ溶消ス**

昇汞ヲ此塩ノ溶液ニ加レバ白色ノ澱ヲ生ス、此澱ハ加温スレバ溶解シ放冷スレバ又夕結テ大ナル針状ノ晶トナル

稠厚硫酸一二滴ヲ陶皿ニ点シ之ニストリキニ一ニ少許ヲ投ズレバ溶解シテ無色ノ液トナル、此液ニ少許ノ酸化藥(即チコローム酸加里、過マンガン酸加里、第二含鉄青素加里、過酸化鉛等)ノ小片ヲ投ズレバ始ノ鮮美ナル藍紫色トナリ一ニ時ヲ經テ葡萄様ノ紅色トナリ終ニ紅黄色トナル○液中有機物ヲ混スルキハ稍々同上ノ返

應ヲ妨碍ス○クラリンノ硫酸及コローム酸加里ニ於ルハストリキニ一ト同一ナリト雖モ彼レハ單ニ硫酸ニ由テ己ニ紅色ヲ現ハス是レ其所異ナリ

コロール水ヲ此塩ノ溶液ニ注ケバ白色ノ澱ヲ生ス、此澱ハアンモニアキニ溶シ無色ノ液トナル
強消酸ハ變色セズ、之ヲ温ムレバ黄色トナル
單寧酸ヲストリキニ一ト塩ノ溶液ニ注ケバ白色ノ澱ヲ生ス、此澱ハ塩酸ニ溶セズ

註 ストリキニ一ト中モルメンヲ混スルキハ其

稠厚中性水溶液ニ第二含鐵青素加里謨或中性
 コローム酸加里ヲ加レバ「ストリキニ」沈澱
 ス(モルモン)ハ持リ溶留ス此澱ヲ取り數々水洗
 シ乾後稠厚硫酸ヲ加レバ藍紫色トナル○又法
 ストリキニ「及」モルモンノ混和物ヲ「ベニツ
 」ルニ投スレバ持リ「ストリキニ」溶解ス○
 又「ストリキニ」及「モルモン」ノ醋酸塩溶液ニ
 苛性加里ヲ加ヘテ亞爾加里性トナシ之ニ「コロ
 」ルホルムヲ注ヒテ振盪スレバ「モルモン」ハ「ア
 」ルカリ性ノ液ニ溶留シ「ストリキニ」ハ「コロ

「ルホルム」ニ溶解ス

ブルチン及其塩

ブルチンハ透亮ノ結晶或白色ノ粉末ニシテ
 「アルコール」ニ溶シ易ク冷水ニ溶シ難ク「エー
 」トルニハ少ク溶解ス此塩ハ水ニ溶シ易ク味
 甚苦毒アリ

加里或炭酸曹達

「ブルチン塩」ノ溶液ニ注ケバ白
 色ノ澱(ブルチン)ヲ生ス此澱ハ多量ノ沈降藥ニ
 溶解セズ

アンモニアキヲ此塩ノ溶液ニ加レバ白色ノ澱ヲ

生ス、此澱ハ多量ノ沈降藥ニ溶シ易シ

重碳酸曹達 ヲ中性ノ塩溶液ニ注ケバ絹糸ノ光アル針晶ヲナス

ル針晶ヲナス

稠厚消酸 ヲブルチン或其抱合物ニ加レバ始ノ殷

紅色ニシテ次ニ黄紅色トナル、之ヲ温ムレバ黄

色トナル○此黄色ノ液ニ**第一コロール錫**或**硫**

化アンモニウムヲ加レバ鮮美ナル紫色トナル

稠厚硫酸 五六滴中ニブルチンヲ投スレバ**薔薇紅**

色ノ液トナリ終ニ黄色ニ變ス

コロール水 ヲ此塩ノ溶液ニ注ケバ鮮紅色トナル

之ニアンモニアキヲ注ケバ黄褐色ニ變ス

ヘラトリオン及其塩

ヘラトリオンハ無色ノ結晶或白色ノ粉末ニ

シテ水ニ溶セズ、アルコールニ溶シ易ク、エー

トルニハ溶解シ易カラズ、攝氏百十五度ニ在

テ熔流シ恰モ蠟ノ如シ、之ヲ放冷スレバ**澄亮**

ナル黄色ノ塊トナル、此塩ハ結晶形或護謨状

ニシテ水ニ溶解シ、味辛烈灼クガ如ク、極メテ

毒アリ、鼻中ニ之ヲ吸入スレバ甚シク**發嚏**ス

加里、アンモニアキ或單碳酸アルカリヲヘラトリ

ン塩ノ溶液ニ加レバ白色綿絮様ノ澱ヲ生ス、
此澱ハ多量ノ加里及炭酸加里ニ溶セズ、冷際少
シクアンモニアキニ溶解ス

重炭酸曹達及重炭酸加里ノ此塩ニ於ル其反應ス
トリキニオン及ブルチニニ同シ、然レハトリ
ンニ在テハ煮沸スレバ溶液縦ヒ稀薄ナリト
雖モ容易ニ分離ス

稠厚硝酸ニヘラトリオンヲ加レバハルス様ノ凝
塊トナリ漸々溶解シテ無色トナル

稠厚硫酸中ニヘラトリオンヲ投スレバハルス様

ノ凝塊トナリ漸次溶解シ其液色始タ黄色ニシ
テ漸々變色シ暗黄トナリ紅黄トナリ二三時ヲ
經テ其色又タ消褪ス

稠厚塩酸中ニヘラトリオンヲ溶スレバ無色ノ液ト
ナル、之ヲ久シク煮沸スレバ終ニ鮮紅色トナル、
此色時ヲ經テ消褪スルコトナシ

コロール水ヲヘラトリオン塩ノ溶液ニ加レバ黄
色トナル之ニアンモニアキヲ加レバ褐色ニ變
ス

アトロピン及其塩

アトロピン（莨菪中ノ一近成分）ハ無色光澤アル小柱形
 或針状ノ結晶ニシテ臭氣ナク、嘔スベキ苦味
 アリ、攝氏九十度ニ至テ溶解ス、加熱スレバ昇
 華シ其状恰モ脂ノ如ク、冷水ニハ三百倍ニ溶
 シ沸湯ニハ六十倍ニ溶シ、酒精及アルコール
 ニ溶シ易ク、之ニ水ヲ加レバ又タ稍沈降ス、ゴ
 ロールホルムニ甚タ溶シ易ク、又タエートル
 ニ溶ス○アトロピン塩ハ水及酒精ニ溶シ
 易ク、エートルニハ全ク溶セズ、其水溶液ヲ久
 シク加熱スレバ暗色トナル、眼中ニ点入スレ

ハ瞳孔ヲ開大ス、其性甚毒

加里或單炭酸固性亞爾加里ヲアトロピン塩ノ
 稠厚溶液ニ加レバアトロピンノ一分沈降ス
 炭酸アンモニアキ及重炭酸アルカリハ此塩ノ溶
 液ヨリ生澱セズ

第二コロール金ヲアトロピン塩ノ水溶液ニ加
 レバ黄色結晶形ノ澱ヲ生ズ

單寧酸ヲ此塩ノ水溶液ニ加レバ白色乾酪様ニシ
 テアンモニアキニ溶スベキ澱ヲ生ズ

註 ストリキニーシヲ、ブルチン、ヘラトリオン及ア

トローピンヨリ分離セント欲セバ之ニ純アル
 コールヲ注加スベシ、乃チ特リ「ストリキニン」
 ノミ之ニ溶セズシテ沈底ス、之ヲ分チ取り硫酸
 及酸化藥ヲ以テ「ストリキニン」ノ試験ヲ施ス
 ベシ○アトローピンヲ「ブルチン」及「ヘラトリ
 ン」ヨリ檢別セント欲セバ之ヲ「亞爾加里性」ノ溶
 液トナシ之ニ「ペトロロイムエートル」ヲ注ヒテ
 振盪スレバ「ブルチン」及「ヘラトリン」ハ之ニ溶解
 シ、アトローピンハ溶解セズ○「ブルチン」ト「ヘラ
 トリン」ノ鑒別ハ消酸及第一「コロール」錫或硫

化アンモニウムニ由テ生スル所ノ反應ニ由テ明
 ナリ

附録

アポモルモン、コテイイン、サリチン、ヂギタリーニン、
ピクロトキシニン、コルヒチン

○サリチン、ヂギタリーニン及ピクロトキシニンハ沃
度加里謨含沃度液ニ由テ沈澱セズ

アポモルモン

アポモルモンハ攝氏百五十度ノ温ニ在テモル
モンニ發烟塩酸ヲ注キ或ハ稠厚硫酸ヲ注ヒテ

成ル所ノ一種ノ植物性塩基ナリ、其純粹ナル者
ハ白色ノ粉末ニシテ氣ニ觸レバ直ニ綠色ニ變
ス、其綠色ノ者ハ水、アルヨールニ溶ニテ綠色ノ
液トナリ、エートル、ベンゾールニ溶シテ薔薇様
ノ紫色トナリ、コロールホルムニ溶スレバ紫色
トナル、麻酔ノ性ナク催吐ノ効アリ

コテイイン

コテイインハ阿片中所含ノ一植物性塩基ニシテ
結晶ノ形ヲ有シ阿片中含ム所ノ他ノ塩基ニ比
スルニ其水ニ溶スルノ量最モ大ナリ、之ヲ熱ス

レバ攝氏百五十度ニ在テ熔解シ、尚ホ加熱スレ
バ分解ス、其性アルカリ性ニシテ水、アルコール
及エートルニ溶シ、アンモニアキニ溶シ、加里ニ
溶セズ○此塩ハ中性ニシテ結晶シ易ク、水ニ溶
解シ、加熱スレバ分解ス

サリチン

サリチン（水楊皮中
一近成分）ハ白色ニシテ光澤アル針状
或葉片状若ハ粉末状ヲナシ、水、アルコールニ溶
シ易ク、エートルニ溶セズ、味苦○單純ノサリチ
ンハ之ヲ生澱セシムルノ試験藥ナシ

〔稠厚硫酸〕中ニサリチンヲ投スレバ著シキ血紅色
ノ凝塊トナル

〔塩酸〕ヲサリチンノ水溶液ニ加ヘ、少時煮沸スレバ
糖化シテ其液忽然溷濁シ白色輕鬆ノ澱（サリチ
ン）ヲ生ス○此液ニ一二滴ノコロム酸加里ヲ
加ヘ、更ニ煮沸スレバ鮮美ナル薔薇紅トナリ、
テ一種固有ノ佳香ヲ放ツ、是レチギタリン及
ピクロトキシント所異ナリ

チギタリン

チギタリン（チギタリス兼
中ノ一近成分）ハ白色ノ粉末或結

晶形ニシテ臭ナク味苦甚毒其塵末ハ眼ヲ刺衝
シ、又ク嚏ヲ發セシム、性中性ニシテコロールホ
ルムニ溶シ易ク酒精及アルコールニ溶シ水ニ
溶シ難ク、エートルニハ少ク溶解ス

稠厚硫酸ニ「ヂギタリーリン」ヲ溶スレバ綠色ノ液ト
ナル之ニ「ブローム水」一滴ヲ加ヘ硝子竿ヲ以テ
攪拌スレバ紫紅色ヲ帶タル液トナル

塩酸ニ溶スレバ帶綠色トナル、之レニ水ヲ加レバ
「ハルス様」ノ躰トナリ沈降ス**消酸**ニ溶スレバ赤
色ノ烟ヲ發シテ溶解ス**醋酸**ヲ注ゲハ溶ケテ無

色ノ液トナル

エートルヲ「ヂギタリーリン」溶液或其酸性溶液ニ注
キ振盪スレバ「ヂギタリーリン」之ニ溶解ス

沃度溶液、ピクリン酸及金屬塩ハ「ヂギタリーリン」溶
液ニ注ヒテ生澱セズ**單寧酸**ハ生澱ス、此澱ハ沸
湯ニ稍溶解ス、サリチン及ピクロトキシニンハ之
ニ由テ生澱セズ是レ此ニ物ト所異ナリ

稀硫酸ヲ以テ「ヂギタリーリン」ヲ煮沸スレバ分解シ
テ糖及ヂギクリレヂンヲ生ス

ピクロトキシニン

白色光澤アル四角針状ノ結晶ニシテ臭氣ナク、
味苦、性極テ毒アリ、性中性ニシテ温水、温酒精ニ
溶シ易ク、エートルニ溶シ難シ

アンモニアモ含水加里及含水曹達ハピクロトキ
シシテ多量ニ溶解ス、此稠厚溶液ニ酸類或炭酸
ヲ加レバ再ヒ分離沈降ス○ピクロトキシシシノ
加里或曹達溶液ヲ煮沸スレバ黄色或黄紅色ト
ナル

含加里酒石酸酸化銅即ヘーリリンググヲ含水曹達或
含水加里少許ヲ加ヘタルピタロトキシシシノ溶

液ニ注ギ微温スレバ亞酸化銅沈降ス是レサリ。
チン及ヂギタロリント所異ナリ

沃度液、ピクリン酸、單寧酸及金屬塩ハ澱ヲ生スル
ヲナシ

コルヒチーン
コルヒチーンノ無色ノ細針或帶黄色ノ粉末ニ
シテ水、アルコール、エートルニ溶シ、稀酸ニ溶ス
レバ淡黄色ノ液トナル

稠厚消酸ニ投スレハ紫色トナリ直ニ褐色ニ變ス、
之ニ水ヲ加ヘ稀釋スレバ淡黄色トナル、又タ之

。亞爾加里ヲ加レハ橙黄若ハ橙赤色トナル

〔沃度加里謨含沃度液第二コロール金及第二コロ

ール白金ニ由テ沈澱ス

試驗要領卷之四終

67
5
101

